

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	山陽自動車運送(株) 厚木支店 移転新築工事	階数	地上3F
建設地	厚木市酒井字榎戸1152番地1ほか25筆	構造	S造
用途地域	工業地域、防火地域指定なし	平均居住人員	30人
地域区分	6地域	年間使用時間	2,650時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2026年10月 予定	評価の実施日	2025年8月22日
敷地面積	4,996 m ²	作成者	(株)鴻池組東京本店一級建築士事務所
建築面積	2,398 m ²	確認日	2025年9月8日
延床面積	6,015 m ²	確認者	(株)鴻池組東京本店一級建築士事務所



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

46 (kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 2.9

Q1 室内環境 Q1のスコア = 0.0

音環境	N.A.
温熱環境	N.A.
光・視環境	N.A.
空気質環境	N.A.

Q2 サービス性能 Q2のスコア = 3.5

機能性	N.A.
耐用性	3.1
対応性	3.9

Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 2.5

生物環境	2.0
まちなみ	3.0
地域性	2.5

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.1

LR1 エネルギー LR1のスコア = 0.0

建物外皮の	N.A.
自然エネ	N.A.
設備システ	N.A.
効率的	N.A.

LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 3.2

水資源	3.4
非再生材料の使用削減	3.3
汚染物質回避	3.0

LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.0

地球温暖化への配慮	N.A.
地域環境への配慮	3.0
周辺環境への配慮	3.1

3 設計上の配慮事項		
総合	相模線門沢橋駅から車で10分の工業地域に3F・S造の倉庫業を営む倉庫を計画した。	その他 特になし
Q1 室内環境	特になし	Q2 サービス性能 給水FEP(B)、汚水排水VP(B)、雑排水VP(B)、Eは不使用。階高: 3.9m以上。積載荷重: 4500N/m ² 以上
LR1 エネルギー	特になし	LR2 資源・マテリアル 自動水栓に加えて、節水型便器を用いている。躯体+軽鉄+仕上材のディテールを採用している。
		LR3 敷地外環境 適切な量の駐輪場、駐車場及び複数箇所の出入口を確保して、荷捌き用駐車施設も確保している。広告物照明を行っていない。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される